

	チェック項目	はい		どちらとも いえない		いいえ		改善目標 工夫している点など
		数	比率%	数	比率%	数	比率%	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	100	0	0	0	0	・定員10名の面積より広めのスペースになっていて、定期的に模様替えしている。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	100	0	0	0	0	・10名定員の職員数より多めに職員が配置されています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	33.33	4	66.67	0	0	・1階部分は床がフラットで外部から車いすで入ることも可能ですが、車いす利用の友達が入所した際は改善が必要です。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	100	0	0	0	0	・毎日子どもたちについて話し合いを行い、皆で共有しています。 ・毎月、モニタリングや受給者証更新のお友達について、施設内会議を開きPDCAにのっとり話し合いをし共通理解を図っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	100	0	0	0	0	・毎年1月～2月にアンケート調査を行い、集計し保護者の意向や思いを把握しより良い事業所になるように努めている。 ・集めたアンケートを職員で閲覧し、内容を話し合っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	83.33	1	16.67	0	0	・いぶき通信の3月号に毎年アンケートの結果やご意見を掲載している。 ・担当者がまとめた内容を、いぶき通信やホームページに載せている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	50	2	33.33	1	16.67	・第三者による外部評価は行っていないが、3事業所の中でそれぞれ別の事業所の職員が評価している事で冷静な判断がされている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	83.33	1	16.67	0	0	・職員の資質向上ということで、いぶきの療育についての小冊子を作成し、定期的に施設内研修を行っている。 ・設置者が新任研修を行い福祉全般や地域の福祉について講義をしている。 ・新型コロナウイルスの影響で、外部講師を招いての研修会は予定していたが中止となった。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	100	0	0	0	0	・日々のミーティングの中でお友達の様子を話し合ったり、保護者からの要望やニーズなどの報告を受け、児童発達管理責任者がまとめている。 ・日々のミーティングの内容や保護者からのニーズをもとにアセスメントやモニタリングを行い、施設内会議、保護者との担当者会議を開き計画作成の見直しをしている。

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	100	0	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日本感覚統合学会監修のスクリーニング検査J-map(児発管が資格取得)、LD児等のためのチェックリスト等3つのアセスメントツールを用いている。 ・児発管が積み木や、運動などを用いた検査を使ってアセスメントしている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	100	0	0	0	0	0	毎朝ミーティングを行い、前日の反省と今日の子どもたちのメンバーなどを考慮しプログラムを立案している。休日などのプログラムについては事前に打ち合わせを行い、立案している。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	100	0	0	0	0	0	ミーティングの中で、プログラムを確認し内容についても、いろいろ検討したり前日の内容と被らないように等話し合い工夫して子どもたちが楽しめる様に実施している。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	100	0	0	0	0	0	平日、休日、長期休暇それぞれに応じた基本プログラムを用意し、話し合いをし課題や活動など設定している。休日の余暇活動、創作活動などは担当を決め取り組んでいる。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	100	0	0	0	0	0	個別療育、学習、工作や制作等、個別に取り組む時間、サーキットトレーニングやグループワークなどの集団で行う活動など日々の療育の中でバランスよく配置し取り組めるように計画を作成している。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	100	0	0	0	0	0	毎朝、職員のミーティングを行い、療育内容の確認、個別支援の確認、その際の担当、送迎の担当などきめ細やかに役割分担している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	100	0	0	0	0	0	送迎終了後、職員でその日の療育の反省、保護者からの申し送り、各自感じたことや気が付いた事等話し合い共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	100	0	0	0	0	0	療育終了後ケース記録および日誌を記入し、他に必要な書類の記載があった場合は記載する。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	100	0	0	0	0	0	原則6ヶ月に一回モニタリングを行い計画の作成をしている。その際職員間で話し合いモニタリング及び計画書の確認を行っている。新規および見直しが必要な場合は6ヶ月以内でも行う。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	66.67	2	33.33	0	0	0	自立支援、日常活動、創作活動、余暇活動などのガイドラインになる基本活動を、元に立案し、行っている。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	6	100	0	0	0	0	0	受給者証の更新、モニタリングの際に、ほとんどの相談支援事業所の方と支援会議を行っている。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	100	0	0	0	0	下校時間及び行事の変更、新型コロナウイルスに伴う休校、などの連絡をメールや電話をでいただき連絡調整をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	16.67	5	83.33	0	0	医療的ケアが必要な子は現在在籍無し。今後在籍するようになった場合は主治医との連絡体制を整える予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	100	0	0	0	0	施設訪問時及び、支援会議の際などに情報の共有を行い、一人のお子さんの相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	83.33	1	16.67	0	0	2018年度に放課後等デイサービス終了した2名の児童は就労、生活介護などの事業所に情報を提供した。今年度も該当する児童はない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	50	3	50	0	0	訪問を受けたときに、いろいろ話し合いをしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	3	50	3	50	送迎の際に情報の共有を行っているが、交流や一緒にの活動などは実施していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	100	0	0	0	0	保原事業所の児発管が参加し、持ち帰った課題や提案など協議し次回の協議会に提案するようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	100	0	0	0	0	自宅へ送った際や、お迎えの際子どもの様子を伝えたり、家庭での困り感を聞いたり共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	83.33	1	16.67	0	0	面談や相談に来られた際に必要に応じて、子育てに対するトレーニングプログラムや、療育について支援している。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	100	0	0	0	0	入会の手続きの際やモニタリングの際に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	100	0	0	0	0	随時悩み事や困り感の相談は受け入れ対応し助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	3	50	3	50	保護者会の設置は保護者への負担などを考慮して設定していない。今年度は新型コロナウイルスにより予定されていた芋煮会は中止になった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	100	0	0	0	0	迅速に対応できるように、体制を整え苦情などについての担当者は、伊達事業所の職員が担当し、冷静で公平に対応出来る様にしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	100	0	0	0	0	2か月に1回いぶきグループ通信を発行し療育、方針、連絡事項など発信している。

寺	35	個人情報に十分注意しているか	6	100	0	0	0	0	就職した際に、契約書を交わし、日々個人情報については注意を喚起している。またパソコンやメモリースティックの取り扱いについても注意喚起を行っている。更に個人の情報が入った文書を処分する際はシュレッターで粉碎し分別し処理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	100	0	0	0	0	相手に理解できる様に考慮し、児童の場合はその子の特性に応じて、保護者の方に分かりやすく伝え、意思疎通や情報伝達が適切に行えるように配慮し支援にあたっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	16.67	1	16.67	4	66.67	今年度は新型コロナウイルスなどの影響で開催していない。次年度はどうするのか検討中である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	100	0	0	0	0	・職員については、定期的に読み上げる時間を設けたり、避難訓練の前に確認したりしている。 ・保護者の方については、玄関先にファイルを設置しいつでも見る事が出来る様にしている。更にモニタリングや更新の際に必ず確認していただくようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	66.67	2	33.33	0	0	新型コロナウイルスを考慮し前年度より回数を減らし実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	100	0	0	0	0	伊達事業所において、3事業所合同で基幹センターから講師を招き今年度も研修を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	50	3	50	0	0	身体拘束が必要な児童は現在在籍していない。必要がある児童が利用した場合は保護者に了解を受け組織的に決定し計画に記載し行うように検討したい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	100	0	0	0	0	保護者から情報の提供をいただき、アレルギーのある食材をおやつや食材の保管庫に掲示している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	100	0	0	0	0	ヒヤリハット事例集を作成し、不定期だがミーティングの中で取り上げ共有している。新たに発生した時は会議をし解決策や対策を練り更新している。